

経営比較分析表（令和2年度決算）

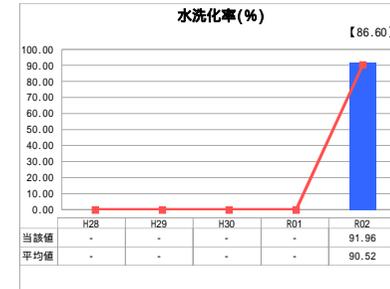
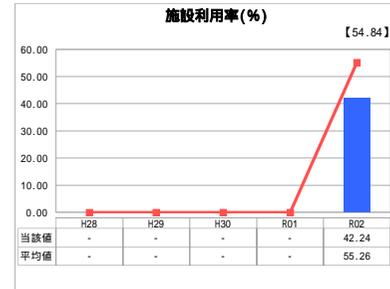
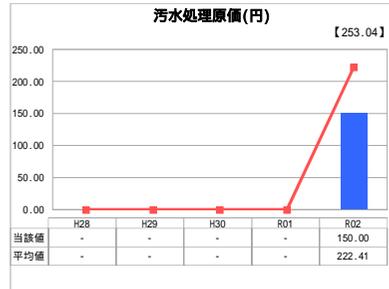
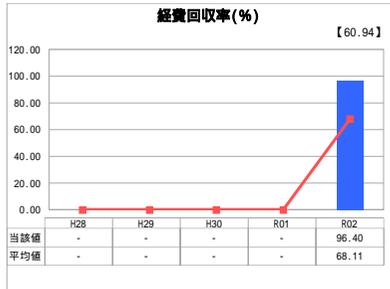
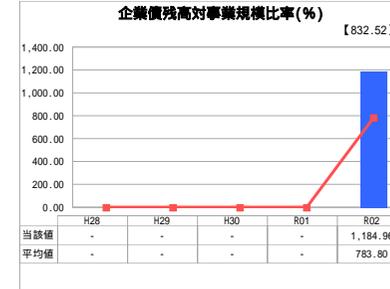
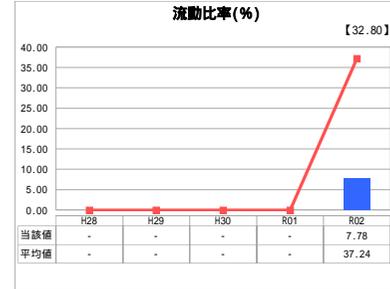
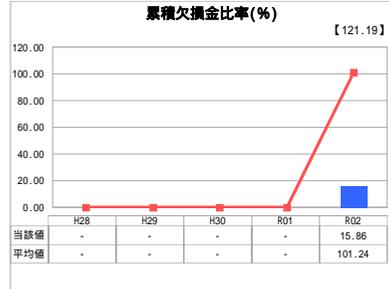
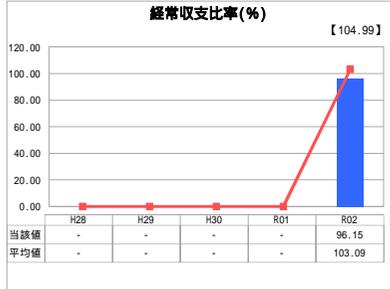
福島県 南相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	76.47	6.29	87.56	3,107

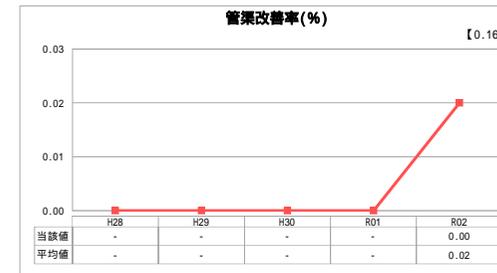
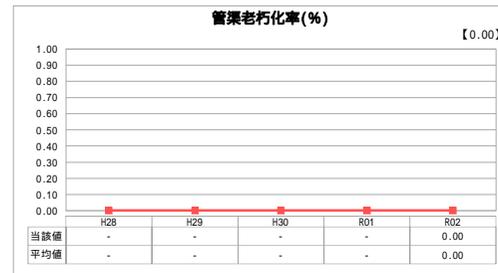
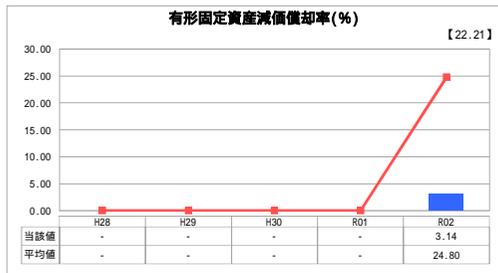
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
59,018	398.58	148.07
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,695	5.89	627.33

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の農業集落排水事業は令和2年度から地方公営企業法を一部適用させ公営企業会計に移行した。

経営収支比率
類似団体平均値と比べ若干下回っている。これは、使用料で回収すべき経費が賸われておらず、繰入金に依存している状況である。

経費回収率
100%に近い水準ではあるが、今後は老朽化に対応するための費用がさらに増加し、人口減少により使用料収入は減少することが予想されるため、将来的な財政バランスを見通して経営計画を見直していく必要がある。

施設利用率
類似団体平均値に比べ低い利用率になっている。

水洗化率
類似団体平均値を若干上回っている。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率
管渠については法定耐用年数を超えるものはないが、将来的に更新等を迎える管渠が増加することが考えられるため計画的な修繕又は改築などの対応が必要になってくる。

全体総括

農業集落排水事業は、将来の普及人口の増加は期待できず、使用料収入の大幅な増加は見込めない状況である。

今後は、これまで投資してきた資産の更新・改築需要が増大することから、より厳しいコスト意識が必要である。

このことから、令和2年度に策定した最適整備構想及び機能診断結果に基づき、処理施設の統合及び公共下水道への接続など維持管理費削減に有効対策の検討をし、機能保全対策をまとめ、効率的な事業運営を行っていく必要がある。

「経営収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。